

親子聖書日課

NO.1698 2021.4/11-17

名前

[日]「主に立ち帰る」ことが命じられましたが、空手ではいけません。感謝の献げ物(十一献金)を携えるなら、祝福は限りなく注がれます。十分の十は主のものですから、その内、十分の一を捧げることは当然です。ためらわず、喜んで捧げましょう。

[月]旧約の最後で、主は「モーセの教えを思い起こせ」と言われました。その中には、厳しすぎて思い出したくないものがあるでしょうが、私達を罪の滅びから救い出すためです。御言葉に聴き従うことによって、実りある人生を歩むことができます。

[火]聖書日課は、8巡目に入ります。今日生きる力として、御言葉に聴き従いましょう。主は私達の罪を裁くためではなく、「罪から救う」ために世に来られ、私達と共に、生涯歩んで下します。主を信じるなら、「神は我々と共におられる」のです。

[水]占星術の学者達は、星とメシア預言(ミカ5:1)に導かれ、救い主を求めました。主イエスを見た時、信じ、礼拝し、最善の物を捧げました。求道→信仰→礼拝→献身と、私達も信仰の高嶺を目指しましょう。必ず、「喜びに溢れた」人生となります。

[木]「悔い改め」は、後悔ではありません。神に背を向けた生き方を止めて、神の下に立ち帰る事です。それは「ごめんなさい」と、罪を告白することから始まります。「悔い改めにふさわしい実(愛、喜び、平和)結ぶ」には、御言葉に従うことです。

[金]悪魔の巧妙な手口に騙されてはいけません。「石がパンになるように」とは、本能的な欲望に、「飛び降りたらどうだ」は、虚栄心に、「これをみんなに与えよう」は、所有欲に迫ってきます。誘惑に打ち勝つためには、主と主の言葉に従うことです。

[土]「富んでいる人」「喜んでいる人」が幸せなのではありません。「心の貧しい人」「悲しむ人」こそ幸せなのです。それは、自分を誇らず、素直な心で主により頼むので、主から大きな慰めや憐れみを頂くことができるからです。幸せな人になりましょう。

	聖書	問題	答え
日	マラキ 2:17-3:12	どれほどの献げ物をすべての倉に運ぶべきですか。	
月	3:13-24	わが僕モーセの教えをどうすべきですか。	
火	マタイ 1:1-25	インマヌエルとは、どんな意味ですか。	
水	2:1-23	学者たちはその星を見てどうしましたか。	
木	3:1-17	何にふさわしい実を結ぶべきですか。	
金	4:1-25	人は何の口から出る一つ一つの言葉で生きるべきですか。	
土	5:1-16	平和をどうする人々は幸いですか。	
感想と祈りの課題			

